



平成26年10月22日  
国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾事務所

## お知らせ

# 愛知県石油コンビナート等防災訓練に 海洋環境整備船「白龍」が参加し流出油回収訓練を実施！

### 1. 概要

10月30日(木)に中部電力(株)渥美火力発電所(愛知県田原市小中山町)及びその周辺海域において実施される、平成26年度愛知県石油コンビナート等防災訓練<sup>(注)</sup>の海上訓練に中部地方整備局名古屋港湾事務所所属海洋環境整備船「白龍」が参加します。

本訓練は、南海トラフを震源とする巨大地震が発生したことを想定し、海上訓練と陸上訓練の2会場に分かれ、海上12項目、陸上42項目の訓練を実施します。

海上訓練は、突発型地震の発生により津波が襲来し、油が海上に流出する等の想定のもと、白龍は油流出事故対応を図ることを目的とした海上訓練に参加し、流出油の回収及び航走拡散訓練(排出油防除訓練)を行います。

海洋環境整備船「白龍」は油流出時には速やかに現場に向かい、フロート搭載型油回収器を海面に降ろし航行しながら油水を回収します。回収した油水は油と海水に分離し油のみタンクに回収することができます。また船首部に取り付けられた放水銃により海面の油を拡散させることができます。

<sup>(注)</sup>主催は愛知県・田原市・第四管区海上保安本部及び名古屋海上保安部、陸・海・空20機関が参加

「白龍」は、航行船舶の安全性の確保や海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾の一般海域(港湾区域、漁港区域を除いた海域、約1,800km<sup>2</sup>)の浮遊ゴミ回収と、油流出事故の際の油回収を目的とする船です。通常は清掃船として浮遊ゴミ回収に従事しています。

- 日時・場所 平成26年10月30日(木) 12時30分～15時45分、  
愛知県田原市小中山町(中部電力(株)渥美火力発電所)及びその周辺海域
- 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、  
港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス
- 問合せ先  
国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港・防災危機管理課 塚本(つかもと)  
Tel 052-209-6328 Fax 052-209-6334  
国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 久野(くの)  
Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

## 平成26年度愛知県石油コンビナート等防災訓練

### 1. 目的

石油コンビナート等災害防止法及び愛知県石油コンビナート等防災計画の定めるところにより、県、市町村、防災関係機関及び特定事業所等が参加して、迅速かつ円滑な応急対策訓練等を実施することにより、参加機関相互の協力体制を確率するとともに、事業所従業員の防災意識の高揚を図り、防災対策の充実強化を図ることを目的とする。

### 2. 訓練概要

- ・日時 平成26年10月30日（木） 12:30～15:45
- ・場所 田原市小中山町地内及びその周辺海域
- ・主唱 愛知県石油コンビナート等防災本部
- ・主催 愛知県・田原市・第四管区海上保安本部・名古屋海上保安部
- ・協力 中部電力(株)渥美火力発電所

海上訓練 12:30～13:30 中部電力(株)渥美火力発電所及びその周辺海域

陸上訓練 14:15～15:15 中部電力(株)渥美火力発電所

講評 15:15～15:45 陸上訓練会場

### 3. 訓練想定

想定災害：南海トラフを震源とする巨大地震 田原市で最大深度7

### 4. 訓練参加機関

愛知県、田原市、第四管区海上保安本部、名古屋海上保安部、中部電力(株)渥美火力発電所、中部地方整備局、名古屋地方气象台、陸上自衛隊（第10師団、第10特科連隊）、愛知県警察、名古屋市消防局、豊橋市消防本部、岡崎市消防本部、豊川市消防本部、名古屋港管理組合、日本赤十字社愛知県支部、中京地区広域共同防災協議会、西日本電信電話(株)名古屋支店、伊勢湾三河湾タグ協会、伊勢湾防災(株)、伊勢湾排出油等防除協議会（20機関順不同）

### 5. 訓練の特徴

- （1）海上訓練と陸上訓練の2会場に分かれ、南海トラフを震源とする巨大地震が発生したことを想定し、海上12項目、陸上42項目の訓練を実施します。
- （2）海上訓練においては、津波来襲による危険物（原油）の海上への漏えい、荷役施設からの流出油による火災等を想定し、オイルフェンス等を用いた流出油の防除活動、消防艇による消火活動などの訓練、併せて情報伝達訓練、防災ヘリによる負傷者吊上げ救助訓練を実施します。
- （3）陸上訓練においては、危険物（原油）の漏えい、タンクの火災等を想定し、散水等による拡散措置や消防車による消火活動などの訓練を実施します。

# 海洋環境整備船「白龍」の概要

## 「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業。
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業。
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。



## 「白龍」の諸元

- 所属  
中部地方整備局  
名古屋港湾事務所
- 基地港  
名古屋港 四号地岸壁
- 全長、全幅、総トン数  
33.5m、11.6m、198t
- 最大速力  
15.1kt (約28km/h)
- 担務海域  
伊勢湾・三河湾 (1,800km<sup>2</sup>)  
(港湾区域及び漁港区域  
等の指定区域を除く)



## 東日本大震災における災害 支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

- 海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。
- 漂流物回収量【239.1m<sup>3</sup>】

